

日頃のご支援ありがとうございます。日々お聞きする町民の声やご意見を町に届け、様々な方と協力しながら困りごとの解決や要望の実現のために活動しています。



つくだ けい子  
日本共産党町議会議員

暮らしと平和を守る  
政治をめざして力を尽くします。

● 次回の町議会予定 ●  
**9月9日(月)一般質問**  
時間は今後決まります

## 6月議会で質問しました

### ▼デマンド型乗合タクシーの拡充について

- ① 現在までの利用者数と利用状況
  - ② タクシー運行区域を町外にも広げる
  - ③ 運行日や便数を増やして高齢者の外出支援を
- ▼子どもたちの教育環境の整備について
- ① 不登校児童・生徒への支援を充実する
  - ② スクールバス利用料(一人月3千円)を無料にする



## 高齢者の外出支援を

●デマンド型タクシー「ひぬま」の運行を拡充し

- つくだ議員は、町が運行するデマンド型タクシー「ひぬま」(一回300円)について、
- ① 運行日が月々金曜日のみで土・日に利用できない。
  - ② 運行が町内に限られ、町外の病院等に行けない。
  - ③ 1日の利用を一人2回までに制限しないほしい。
- などの町民の声を紹介し、「タクシーの台数(現在2台)を増やすなどして利便性を拡充し、高齢者の社会参加や介護予防の観点から外出機会を増やすことが大切」と指摘。「ひぬま」の運行拡充について町の考えを質問しました。

### 町の答弁

町長公室長が答弁に立ち、令和4年度の本格運行開始から今年4月末までの利用状況は、利用登録者が648人で、



延べ6,729人が利用していると答えました。

その上で、「町外への外出希望者には、タクシー助成券(※)を交付している」とし、「ひぬま」の町外運行については▽関係自治体との協議が必要▽移動時間が長くなることで運行スケジュールに影響が出る▽町の運行経費が増える、などとして今後検討するとなりました。

1日の利用回数は、できる限り多くの方に利用してもらうため、1日2回の上限を継続していくと答えました。

やはり、タクシー2台だけの運行では要望にこたえられないことがわかりました。

【タクシー助成券】：70歳以上で車を運転しない高齢者に、タクシー料金の助成券(一枚、500円)を年間24枚まで交付。お問い合わせは、町の社会福祉課または民生委員まで。

## 核兵器のない世界をめざして平和行進

北海道から東京までを歩く平和行進が7月1日、町役場を訪れ、職員に出迎われました。歓迎集会では、町長のメッセージを副町長が代読。行進参加者らが核兵器廃絶の決意を述べ、つくだ町議も一緒に歩みをすすめました。



7/1

磯部光雄さんは「日本政府が核兵器禁止条約を批准しないことは理解できない。兵器の開発や軍事費の大幅増をストップさせるために力を合わせていきたい」とあいさつしました。



## 子どもが学び 成長できる場を

●不登校の児童生徒に寄り添った支援を充実させ

茨城町でも、学校を長期間休む子どもが増えています。生きづらさを感じたり、上手くコミュニケーションをとれずに悩んでいるのではないのでしょうか。

文科省が児童生徒に行った不登校理由の調査では、「いじめや嫌がらせ」「先生との関係」「身体の不調」など様々な理由が上げられています。

つくだ議員は、町の現状や、子どもの居場所や学びの場について質問しました。

### 町の答弁

教育部長は答弁で、「不登校の要因は多岐にわたっていることから、本人や保護者との関りが持続できるよう特に教育相談を充実していく」としました。また、居場所づくりの一环として、ゆうゆう館にある支援センター「とんぼの広場」を小

中学生が利用していると答えました。

年度	不登校数	
R3	小	21人
	中	40人
R4	小	42人
	中	46人
R5	小	22人
	中	51人

### 中学校にフリースクール設置

さらに、今年度から試験的に明光中と青葉中で学校の一室を活用した校内フリースクールを開設したと答弁。不登校生徒だけでなく、教室に入りづらい、居づらい生徒も対象として、3〜7人程度が利用しているとしました。



子どもが学校に行きたくないって言ったなら…  
**不登校・多様な学びネットワーク茨城の応援サイトをご覧ください。**





● 統廃合で学校が遠くなった子どもたちのために

# スクールバスは無料に



つくだ議員は、町内約500人の子ども(全児童生徒の4分の1)が利用するスクールバスについて、「憲法26条の義務教育は無償である」という観点からも無料にすべきだと質問しました。日本共産党はこれまでも、繰り返し無料化を求めてきました。

町では、学校の統廃合を契機に運行が開始され、10年が経過。最初の5年間は国から補助金が交付されていましたが、現在は、保護者が払う利用料と町の負担で運行費がまかなわれています。

## 他自治体の多くが無料実施

こうした仕組みは他の自治体も同じですが、城里町や小美玉市、石岡市、笠間市などでは、子育て支援や保護者負担の軽減策として予算をと

### ● 各自治体の実施状況 ●

- 【茨城町】 バス利用料は子ども1人目が月3千円、2人目は半額、3人目以降は無料。
- 【城里町】 2km以上から利用でき、無料。
- 【小美玉市】 3km以上から利用でき、3km以内でもバス停まで行けば利用可能で無料。
- 【石岡市】 小学生は4km、中学生は6km以上から利用でき、原則無料。
- 【笠間市】 当初は保護者負担があったが、現在は無料。

ており、バス代を無料にしています。一方、茨城町では、2人の子どもが利用する家庭では、年間49,500円も負担になります。

日本共産党は、毎年行っている政府への要望で、国の補助金を継続するように求めています。まずは町の予算で無料化を

実施することが必要ではないでしょうか。

### 町の答弁

教育部長の答弁は、「バスを利用しない児童生徒を考慮すると、利用する子の保護者に一定額を負担してもらうことは公平だ」という姿勢で、現行のまま有料化を続けるというものでした。

しかし、学校を統廃合したことによって遠くなり、歩いて通学できなくなったのは、子どもにせいでなくても子育て世帯の責任でもありません。お金の心配なく子どもが通えるよう、教育費の負担を少しでも軽減することが大切ではないでしょうか。

これからも、あきらめずに取り組んでいきます。



## 青葉中学校スクールバス対象地区の拡大を求める請願

### 可決採択されました

5人の区長(宮ヶ崎、城之内、海老沢、本郷、網掛)から多くの署名を添えて提出された請願「青葉中学校スクールバス対象地区の拡大を求めることに関する請願」が、全会一致で採択されました。

青葉中の生徒約250人のうち、スクールバス利用の23人をのぞく生徒の多くは自転車通学しています。今回の請願が採択されたことをうけ、町は通学路などの現況調査を行ったうえでスクールバスの運用見直しを行うことを検討することになりました。

## よせられた声

つくだ議員の質問で、町内の小中学校の不登校の実態を知りました。子どもたちが生きづらさを感じることがないように、大人たちが力をあわせていきたいです。

(下土師在住、40代)

畜産の経営が大変です。町、県、国の支援が欲しいです。親から受け継いだ牛たちを、酪農を守っていききたい。

(中石崎在住、40代)



桜の郷コミュニティセンターに図書室が欲しい。移動図書館でもいいですね。

(大戸在住、40代)

防災職員のうち、女性は全国平均で1割という。災害の多い日本で、女性職員の比率を高めて欲しい。まだまだ日本はジェンダー不平等、家父長制の国だと思う。

(大戸在住、70代)

### 暑さをしのぐ涼み場所

危険な暑さから避難できる誰でも利用可能な休憩所が開設されます。ご利用ください。

- イオンタウン フードコート 朝10時~夜9時
- ゆうゆう館 朝8時半~夜6時



### お知らせ

## 東海第二原発再稼働STOP!

### 8/24 県民大集会 小林宣夫町長も賛同

東海第二原発は、1978年の運転開始から46年目になる老朽原発。再稼働をめざして工事がすすめられていましたが、津波から原発をまもる防潮堤基礎工事に重大な欠陥不良があることが、内部告発で明らかになりました。

福島第一原発事故や能登半島地震をみれば、地震列島の日本に原発の安全運転は成り立ちません。「再稼働ストップ」の大きな声を上げていきましょう。ぜひご参加ください。

【大集会】8月24日(土)13:30~15:30  
駿優教育会館8階ホール(水戸駅北口)  
参加費無料、どなたでも参加OK

### トピック



### 地域猫活動を支援しています

地域住民が野良猫に対して、不妊・去勢手術を行ったり、飼い主を探すなどの活動を行うことで、飼い主のいない猫をなくしていくことが目的です。支援として、手術費用の一部を補助します。

### 野犬が増えています ご注意ください

県の動物指導センター(笠間市)に保護される犬が急増しています。町内で捕獲されてセンターに収容された犬は、昨年度の1年間だけで239頭にのぼり、県内の市町村で一番多くなっています。

- 動物の命を尊重し、野犬や野良猫を増やさない取り組みが大切です ●

【☎ 犬・猫の問い合わせ先/みどり環境課】